

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年9月1日

Table with evaluation details: 評価対象年度: 平成19年度, 事務事業名: 学級編制事務事業, 管理: 1-1-2-8, 部等名: 教育部, 課等名: 幼保学校課, 係等名: 学校教育係, 科目: 一般, 科目コード: 01-100102002, 予算細目名: 教育総務事務事業, 細々目名: (blank), 政策体系: 基本目標 1 豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり, 施策 1 小中学校教育体制の充実と施設の整備充実, 基本事業名 2 学校運営基盤の充実

Table with project overview and legal basis: 事業概要: 学級編制についての認可申請を行い、基準に応じた学級編制を行う。児童生徒数の把握 学級編制申請 認可, 根拠法令等: 学校教育法施行規則、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律、義務教育諸学校施設費国交負担法施行令、本宮市立小中学校管理規則, 事業の種類: []維持管理事業 [x]義務的事業 []その他事業, 評価区分: []事前評価 [x]事後評価

Table with budget breakdown: 重点事業区分: []重点事業 [x]事業実施期間 [x]継続 []単年度 []期間限定 (年度 ~ 年度), 決算額: 1 報酬 円, 7 賃金 円, 8 報償費 円, 9 旅費 円, 11 消耗品費 円, 12 役務費 円, 13 委託料 円, 14 使用料及び手数料 円, 15 工事請負費 円, 18 備品購入費 円, 19 負担金補助及び交付金 円, 合計 0円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

Table with objectives and means: 対象(誰を、何を): 小中学校児童生徒, 手段(事業の具体的な内容、手順等): 小・中学校の適正規模・適正配置を図ることによって、それぞれのデメリットを克服しながら、メリットを享受することができ、財政投資以上の教育効果があげられるとともに、より良い教育環境の整備、充実が図られる。 意図(対象を、どのような状態にしたいのか): 少人数学級の導入により、児童生徒数と教職員定数について学級編制を行い、適正な学校運営を図る。 活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標: 指標(1) 名称 少人数学級(30人学級)の実施校, 式 少人数学級(30人学級)を実施している学校数, 指標(2) 名称 少人数学級(30人程度学級)の実施校, 式 少人数学級(30人程度学級)を実施している学校数, 成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標: 指標(1) 名称 少人数学級(30人学級)のクラス数, 式 30人学級クラス数の平均人数, 指標(2) 名称 少人数学級(30人程度学級)のクラス数, 式 30人程度学級クラス数の平均人数, 事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか: 30人程度学級編制によって、一人一人に目がよく行き届き、丁寧な個別指導が出来ると同時に、つまずきの早期発見と対応が容易になる。少人数なので、お互いに助け合い、協力し合う雰囲気生まれやすく、落ち着いた生活に結びつく。一人一人の児童生徒の特性や実態を早く把握することができ、個に応じた適切な指導を行うことができる。学習指導・生活指導など入門期の学習・生活習慣を身に付けさせるための丁寧な指導ができる。など多くの効果が上げられている。

(2) 指標・総事業費の推移

Table with trends: 区分, 単位, 年度(実績), 年度(実績), 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(見込み), 年度(最終目標), 指標: 活動指標(1) 校, 活動指標(2) 校, 成果指標(1), 成果指標(2), 投入量: 事業内訳 (国・県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人員費 (職員数, 人件費平均額(年), 人件費計(B)), 総事業費(A+B)

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

Table with environmental changes and opinions: 事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか? 平成14年度からすべての市町村において、小学校1年生と中学校1年生の30人学級編制を実施し、平成15年度には小学校2年生まで拡大しました。3年間の成果と継続・拡大の声を聞き、さらに平成17年度から小・中学校全学年に「30人程度学級」を導入した。 この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? なし

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						